

# 祥光

IMPULSE TOYAMA



発行/58号 令和8年3月 住所/富山市赤江町1-7 TEL. 076-441-2716  
[http://www.3.shokoren-toyama.or.jp/seinenbu-blog/public\\_html/](http://www.3.shokoren-toyama.or.jp/seinenbu-blog/public_html/)

## 商工会青年部連合会 通常総会

四月二十二日（火）、令和七年度通常総会が県中小企業研修センターにて開催された。和田会長が挨拶に立ち、令和六年度に実施した県青連事業の運営協力に対し感謝の意を述べた後、議事に入った。

令和六年度の事業報告、収支決算報告が行われ、その後、任期満了に伴う役員改選で新会長に高平 尚（立山舟橋）が就任、令和七年度事業計画などを説明し全議案が承認された。高平会長は「Be brave, Impulse」時代を担う気概を持って勇敢に「〜」をスローガンに、①創造力と行動力の強化、②組織活性化の推進、③福祉・教育に資する活動の推進、④協力体制の充実、⑤情報共有の強化を重点目標として掲げた。総会終了後、青年部女性部合同による通常総会（合同総会）に続き、会場を移して懇親会を実施した。

### 【新役員（理事を除く）】

- |     |                |
|-----|----------------|
| 会長  | 高平 尚（立山舟橋）     |
| 副会長 | 水口 晶（朝日町）      |
|     | 谷井 拓也（富山市八尾山田） |
|     | 原 尚弘（高岡市）      |
|     | 佐藤 良介（南砺市）     |
| 監事  | 山口 一輝（富山市北）    |
|     | 克次（高岡市）        |



開会挨拶を述べる高平会長



退任された和田会長へ花束の贈呈

### ごあいさつ



富山県商工会青年部連合会会長

高平 尚

平素より青年部活動へのご理解とご支援に深く感謝申し上げます。県内各地での事業や交流を通じて、地域と共に歩んだ一年を振り返ると、部員一人ひとりの郷土愛と行動力が多くの成果を生み出したと実感しております。人口減少や人手不足、物価高など厳しい環境は続いています。各青年部での創意工夫と挑戦は地域の未来に希望をもたらしています。こうした中で得た「つながり」や「学び」は、私たち自身の成長のみならず、地域を支える原動力となつていきます。異業種の仲間と知恵を出し合い、時に挑戦し、時に支え合うことで、私たちは次代の地域づくりを担う力を積み上げてきました。令和八年度は、この積み上げた力を県内十二青年部が結集し、新たな取組として形にしていきたいと考えています。これは部員間の交流のみならず、地域住民との新たな出会いを生み、青年部の意義を共有する好機となるでしょう。人と人が直接顔を合わせ、語り合うことこそが地域コミュニティを育む原点です。合理化やデジタル化が進む今だからこそ、青年部が率先して「つながり」の価値を発信し、地域の未来を切り拓いていきたいと思います。

結びに、令和八年度をより実り多き一年とするために、共に挑戦し、富山らしい活力ある活動を重ねていくことをお誓い申し上げます。

## Content

- |  |  |   |
|--|--|---|
| P1 通常総会<br>ごあいさつ                                     | P3 レクリエーション事業<br>対抗ゴルフ大会<br>宮城県商工会青年部連合会<br>との交流研修会<br>第二回青年部ゼミナール | P4 元気な商工会地域づくり<br>支援事業<br>研修・広報委員会の活動報告 |
| P2 主張発表県大会・ゼミナール<br>主張発表中部ブロック大会<br>青年部全国大会<br>部長研修会 |  |   |

# 主張発表県大会・第一回青年部ゼミナール

七月二十九日（火）、商工会青年部主張発表大会が県中小企業研修センターにて開催された。呉東・呉西の各ブロック大会で選出された七名の代表者が、日頃の青年部活動や地域振興等について熱のこもった発表を行い、射水市商工会青年部の本井寿幸さんが最優秀賞に選ばれた。

また大会に先んじて、株式会社 Sugar love 代表取締役 佐藤 愛氏を招き、「ブランドと信頼を育てるインスタ活用講座」と題し、ゼミナールを開催した。

県大会の結果は次の通り

**最優秀賞** 本井 寿幸（射水市）  
**優良賞** 堀田 将以（上市町）  
**優秀賞**（発表順） 奥村 繁和（入善町）  
 苗加 裕文（南砺市） 林 翔汰（富山市）  
 米道 正裕（庄川町） 釜下 司（富山市南）

# 中部ブロック商工会青年部連絡協議会交流研修会

九月十六日（火）、愛知県ウインクあいちにて、中部ブロック商工会青年部連絡協議会交流研修会が開催され、中部ブロック管内の青年部員三百七十一名が参加した。

主張発表中部ブロック大会においては、富山県代表 射水市商工会青年部の本井 寿幸さんが「人手不足解消、地域のこども達に仕事の楽しさを知ってもらおう」をテーマに発表を行い、優良賞に選ばれた。

大会終了後、「多様化する社会で問われる中小企業の「採用力」とは」というテーマで、株式会社アドプランナー 多賀 公宏 氏による特別講演会が行われ、青年経営者の資質向上を図った。



県代表として発表を行う本井さん



最優秀賞を受賞した本井さん

# 青年部全国大会

十一月二十六日（水）～二十七日（木）、岩手県ツガワ未来館アピオ 岩手産業文化センターにおいて、第二十五回商工会青年部全国大会が開催され、富山県より六十四名が参加した。

大会顕彰では、長きにわたり青年部活動に対して大きく貢献したことが認められ、高岡市商工会青年部に所属していた高桑 茂和さんが感謝状に選出され、全国の受賞者三十一名を代表し登壇した。

また主張発表大会では、関東ブロック代表として出場した埼玉県久喜市商工会青年部の竹下学さんが最優秀賞に輝いた。

尚、来年は商工会青年部組織化六十周年を記念し、東京国際フォーラムにて、第二十六回商工会青年部全国大会が開催される。

# 部長研修会

十二月十七日（水）、高岡市ふくおか総合文化ホールにおいて部長研修会を開催し、県下商工会の青年部長ら十九名が参加。

一般社団法人なかのま代表理事 宮田 隼氏を招き、「就労しづらい若者たち」をテーマに講演が行われた。

「なかのま」は、高岡市で不登校・ひきこもり・生活困窮など多様な背景をもつ人々が、安心して立ち寄り、交流したり生活や学びの支援を受けたりできる「ごちゃまぜの居場所」として、人とのつながりと立ち直りを支えるコミュニティスペースを運営している。

今回の講演では、「なかのま」の取組、そして「自分が生きやすくなるために、相手のことを思いやる大切さ」を学ぶことができた。



講演を行う宮田氏



感謝状を贈呈される高桑さん

# レクリエーション事業

令和七年十月二十五日（土）、富山県総合運動公園屋内グラウンドにおいて、レクリエーション事業が開催され、県内の青年部員およびその家族八十一名が参加した。

単会の垣根を超えた混成十八チームにより、フィンランド発祥のスポーツ「モルツク」を通じて、交流・親睦を深めた。

## ○大会結果

- 優勝 ぶり大根より熱い会  
(県青連・朝日町・小矢部市混成)
- 二位 エエ声で言うところ会  
(立山舟橋・射水市混成)
- 三位 もう帰りたいズ  
(県青連・富山市北混成)



参加者による集合写真

# 対抗ゴルフ大会

令和七年九月三十日（火）、射水市小杉カントリークラブにおいて、商工会青年部対抗ゴルフ大会が開催された。

県内各青年部から総勢九十名が参加し、個人戦と団体戦でスコアを競い親睦を深めた。

- 団体優勝 富山市北チーム
- 二位 南砺市Bチーム
- 三位 小矢部市チーム
- 個人優勝 清水 大介（小矢部市）
- ベストグロス賞 中村 長治（射水市・南コース）  
関書 将文（南砺市・東コース）  
種部 翔太（南砺市・北コース）



参加者による集合写真

# 宮城県商工会青年部連合会との交流研修会

十一月四日（火）～五日（水）、富山市ANAクラウンプラザホテル富山にて、宮城県商工会青年部連合会との交流研修会を開催し、両県青連あわせて七十二名が参加した。

初日の研修会では、東日本大震災の発生当時に全青連会長として復興支援にあたった宮窪大作氏を招き「大規模災害発生時におけるリーダーの心構え」と題し、講演が行われた。

その後、防災クリエイトJAPAN 代表 黒越 友輔氏が講師を務め、「あの日の教訓を明日へ災害に備える力を育てる」というテーマでグループワークを行い、防災への意識を高めた。

二日目には、富岩運河環水公園よりクルーズ船に乗車し、富山市岩瀬地区を視察した。



出席者による集合写真

# 第二回青年部ゼミナール

三月四日（水）、県中小企業研修センターにおいて第二回青年部ゼミナールを開催、部員八十四名が参加した。

今回は「物語と体験をパッケージ化し価値を高める手引き」富山県南砺市でアニメーション制作会社とコラボする中で得られたもの」というテーマで、一般社団法人 地域発新力研究支援センター 代表理事 佐古田 宗幸氏が講演を行った。

地域の“物語”を商品としてパッケージ化する手法、また地域とコンテンツをつなぐ際に重要となる視点・留意点などについて学ぶことができた。



講演を行う佐古田氏

# 元気な商工会地域づくり支援事業

## 日本一小さな村の魅力体験事業

立山舟橋商工会青年部

地元や周辺地域子ども達と親子に舟橋村の地域資源を再発見してもらい、地域への関心を高めて消費活動の促進や地域経済の活性化につなげることを目的にイベントを開催した。



参加者は村内の魅力的なスポットを巡り、写真撮影や舟橋村に関するクイズに挑戦しながら地域の魅力を体験した。また配布したフォトログマップには舟橋の魅力的なスポットや紹介文を掲載することで、イベント後も活用できる賑わい創出ツールとした。



## 地場産業という地域資源を活用した

### 商工業の振興事業

入善町商工会青年部

入善町商工会青年部は、地場産業である自動車関連製品の製造技術を活かし、オリジナルゴルフパターの試作を行いました。

商工会事業者の協力により、カラーやヘッド形状など多様なカスタマイズに加え、ヘッド底面への名前やイラストの彫刻も可能となりました。

まつりんびっくやラーメンまつりで試打体験を実施し、多くの来場者の関心を集め、入善町の高い製造技術をPRする機会となりました。



## “好き”を深め、進路や未来を考える きっかけとなる体験型イベントを実施

南砺市商工会青年部

小学生から高校生を対象に、地元への誇りや親しみを育み、将来の地域定着や雇用創出、地域活性化につなげることを目的として「みらいCAMP in 福光」を開催。

ビューティ&フード、クラフト、クリエイティブ、未来づくりの4つの”沼”をテーマに19の多彩な体験を提供し、地元グルメが集まる偏愛フードマーケットや南砺市出身で第一線で活躍する“ヘンジン”によるトークステージも実施。他団体と連携し、内容の充実と運営体制の強化を図った。



## おいでよ八尾山田ツアー企画事業

富山市八尾山田商工会青年部

八尾山田地域の、「おわら風の盆」以外の魅力を発信し交流人口を増やすことを目的に、SNS等で発信力のある若者を対象に、青年部が中心となって観光モデルコースを企画した。

事業当日は大学生や専門学生がツアーで各スポットを巡り、写真や動画をインスタグラム等に投稿してもらった。参加者の感想や意見を反映することで、若い世代にも地域の風情が伝わるようコースのブラッシュアップを図っていく方針である。



今年度も実りある事業となるよう、委員一同力を合わせて取り組み、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年度に引き続き委員会を毎月開催し、各単会地区を移動の負担もありますが、各地域の特色や雰囲気にも触れながら開催することで、委員同士の理解と親睦が一層深まっています。感じております。懇親の場においても、それぞれの地域の魅力を楽しみながら交流を図ってまいります。回を重ねるごとに活発な意見交換が行われ、委員会としての一体感も高まっています。

本年度の研修委員会では、青年部ゼミナールならびに宮城県青連との交流研修会に向けた企画・運営を中心に活動しております。委員それぞれの視点や経験を活かしながら、より充実した研修となるよう協議を重ねてまいります。

研修委員会の委員長を務めさせていただきます。立山舟橋商工会青年部の高橋です。



研修委員長  
高橋健太郎

### 【研修委員会】

## 研修・広報委員会の活動

また、県青連のInstagramにつきましても、フォロー数が昨年度の約3倍に増加いたしました。今後も、より多くの方に青年部活動を認知していただくよう、情報発信の強化に努めてまいります。

本年度のレクリエーション事業では、昨年度大変好評をいただいたことから、引き続きモルック大会を開催いたしました。今回は新たな試みとして、各単会の混合チームによる対戦を実施し、より一層の交流を深めることができました。

広報委員会では、Instagramでの情報発信およびレクリエーション事業の企画・運営を行っております。

広報委員会を担当しております。朝日町商工会青年部の水口です。



広報委員会  
水口 晶

### 【広報委員会】